

防災コミュニティセンター計画は

質問

合併後に整備された給食センター、火葬場、統合庁舎の目的と考え方は。

市長

給食センターは、児童生徒の食育の拠点、多様化する給食の提供などのために、佐屋・立田を統合し建設した。斎苑建設も紆余曲折はあったが、将来的に市民に喜んでもらえると思信している。本庁舎建設は、トータル的な行政の能率化、集約化、職

質問

員数の削減も含め、見直しをし、考え方を示して協議を進めていきたい。

質問

防災コミュニティセンター整備計画の目的と考え方は。

企画部長

整備計画は、平成23年5月に策定した。災害時の避難所の整備とあわせ、市民のコミュニティ活動の拠点となる施設整備の基本的な指針を示したものの。

質問

八開地区防災コミュニティセンター計画の現状は。

企画部長

現在、具体的な建設候補地は持ち合わせていない。

質問

八開地区の候補地は、いつ決められるのか。

企画部長

市有地や、既存施設の有効活用など、総合的に比較検討し判断をしていく。



鬼頭 勝治 議員

いじめの早期発見への取り組みは

質問

いじめは、どの子どもにも、どの学校にも起こり得るものと言われている。その認識に立って、大きく変わってきた家庭、学校、地域社会などそれぞれの役割を果たし、一体となつてこの問題に真剣に取り組む必要がある。

市のいじめへの対応と早期発見の取り組みは。

教育部長

校内のいじめ防止対策委員会で指導方針などを協議し、全教員が共通理解のもと取り組む体制をとっている。

いじめられる子、いじめている子にも遅刻欠席などの特徴的な行動がある。早期発見のため、全教職員間の緊密な情報交換や共通理解を図り、迅速な行動をとることとしている。

教育長

学校、教育委員会、お互いに問題を共有することが一番大事である。

質問

大津市のいじめ問題を受けて、教育委員会でのような意見、議論があったのか。

教育長

教育委員会は、今後発生したときにどのような対応をするのか、また学校長には、危機感を持って子ども達に当たるよう指示している。

